

市長就任から1カ月が過ぎ、各課とのヒアリングや会合への出席など、精力的にこなす清藤市長。
市長が目指す香南市、そしてこれからの4年間で取り組む5つの基本姿勢について伺いました。

これからの香南市について 清藤市長に聞く



香南市長

清藤 真司

—— 市長就任おめでとうございます。県議会議員のときと市長になってからの、香南市への思いに違いはありますか。

県議会議員時代から同僚議員や県庁の職員に「香南市は元気で可能性のあるまちやね」と言われ続けてきましたし、香南市をモデルにした県全体の政策提言も行っていました。香南市発展に向けての取り組みが、仕事の根幹という点においては違いはありませんが、施策展開の中で責任感やスピード感、やりがいには格段の違いがあります。

—— 市長選挙では5つのことを公約に掲げてこられていますが、その内容を詳しく教えてくださいいただけますか。

①住民自治の確立と地区懇談会の通年開催
住民自治の確立とは、市の施策を決定するプロセスに、住民の皆さんの思いや気持ちが入るということです。10月から地区懇談会（日程は4ページに掲載）を予定しています。そのときに市の施策についてなど、ご意見や感想を頂戴できればと思っております。懇談会の開催当初は、施策の感想と

いうより、比較的、陳情的なことが多くなるとは思いますが、懇談会を繰り返し行っていくことで、徐々に政策提言的な内容が出てくるようになると思います。自分たちも政策決定に関わっているという、やりがいや生きがいを持つていただく、このことが住民自治の確立につながると思います。

②南海地震（津波）対策
地震の被害と津波の被害は、必ず最小限に止める、との決意のもと、考えられるあらゆる防災対策を実施したいと思っております。

1つ目には、地震の揺れから建物の倒壊や家具の破壊を防ぐこと、2つ目

は、迅速かつ確実に避難することができ避難道を100%確保すること、そして3つ目は、安全で安心して避難生活を送ることができる避難施設を確保することです。それと同時に、市民一人ひとりが、自分の家や財産を守る方法を理解すること、自分の身を守り避難する方法を理解することが必要であり、行政と一緒に防災への知識を深める啓蒙活動も不可欠です。さらに、地震の揺れにも津波からも被害を受けないために、高台の耐震建物に移転する方法や建物の耐震化、高層化、さらには避難タワーや津波防潮堤を建設することなど、ハード施策も実施すべきだと考えています。

また、津波避難対策のワークショップ（日程は下欄に掲載）を開催します。ぜひ会場へお越しいただき、みんなで知恵を出し合い、より良い方法を見つけていきたいと思っています。

③都市機能と観光拠点の新たな創出

人口3万4千人の都市にふさわしい都市構造や都市施設を備え、都市機能の面からも、香南市全体でのまちづくりを考える必要があります。

市役所という行政機能を中心とした都市機能の強化を考えた場合、単に市役所の増改築だけを考えるのではなく、ごめんなはり線の公共交通

の活用、駅へ行く連結点としての市営バスの運用、のいちふれあいセンターや野市図書館のさらなる活用も含めた土地利用計画を考えていく必要があります。

観光拠点の新たな創出として、香南市の観光産業をリードするテーマ性のある滞在型・体験型の観光拠点と三宝山の利活用を考えています。

④市民がつくる市民のための産業振興計画

農・林・水産業を基軸に、生産から加工、販売までのすべての工程を一貫して行うことができる、地域独自のシステムを行政と住民の協働で作りにけることが、地場産業を育てることに繋がると思っています。これは、地区懇談会や産業別など、いろいろな関係団体との意見交換を行う中から、内容をより具体的に進めていきたいと思っております。

⑤人生支援の徹底

私は、政治は生活、行政は人生支援ということをモットーにしています。政治は、国民や市民の生活を守り育むことを基本として行わなければならないのですし、行政施策は、市民の一人ひとりの人生を支援するために行われるべきであると思っています。

一人ひとりの人生は、幼児期から学校教育、社会人からリタイア世代

まで、さまざまな選択や挑戦が待っています。充実した人生を過ごす時期もあれば、時には、思うように自分の人生を歩めないと感じるときもあるでしょう。今のこのときを、より充実させるための支援施策、あるいは、現状を打破し新しいステップに進むための支援施策、さらには、いつでも、どこからでも人生に再チャレンジすることを支援する施策を充実させていきたいと思っております。そのためには、あらゆる問題の相談に乗り、必要な情報を提供し、相談者とともに最善の道を探し出す窓口が必要になります。子育て・教育・健康・福祉・就労・土地問題・相続問題など、それぞれの年代を支援する各種の専門的窓口の開設、解決策が見つかるまで、相談者と向き合うシステムを作り上げたいと思っています。

—— 市長の描く香南市像を教えてください。

香南市は多くの可能性を持ったまちです。市民の皆さんに、もっと香南市に関心を持っていただきたいと思っています。それぞれの地域の特性を活かし、行政やまちづくり施策にパートナーとして協働の立場で関わり、それぞれの得意分野で安心して活躍できる、それが私の理想のまち、香南市です。

多くの市民が期待しています。
住んでよかった、住んでみたいと思える香南市の実現に向けて頑張ってください。

【津波避難対策ワークショップ日程】 ■日程については…防災対策課まで ☎ 57-8501

第2回 ◆9月8日(土)14:00～16:00／赤岡市民館 ◆9月8日(土)18:00～20:00／吉川総合センター ◆9月9日(日)9:00～11:00／夜須中央公民館 ◆9月9日(日)14:00～16:00／香我美市民館 ◆9月9日(日)18:00～20:00／のいちふれあいセンター

第3回 ◆9月29日(土)10:00～12:00／吉川総合センター ◆9月29日(土)14:00～16:00／のいちふれあいセンター ◆9月29日(土)18:00～20:00／香我美市民館 ◆9月30日(日)10:00～12:00／夜須中央公民館 ◆10月1日(月)19:00～21:00／赤岡市民館

profile

- 1965年5月9日生まれ(47歳)・A型
- 香南市夜須町国光出身
- 高知学芸高等学校、立命館大学産業社会学部卒業

- 職歴：証券会社勤務、衆議院議員公設秘書、旧夜須町長、高知県議会議員
- 趣味：読書、サウナ